

郡学校保健会だより

令和 8 年度郡学校保健研修総会特集号

令和 8 年度 郡学校保健研修総会のまとめ

令和8年度 揖斐郡学校保健研修総会 内容

1 日時 令和 8 年 7 月 2 9 日 (水) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

2 場所 谷汲サンサンホール 多目的ホール

岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名礼 264-22 0585-56-3733

3 参加者

郡学校保健会理事、郡内各校の校長先生、保健主事、養護教諭、栄養教諭、体育主任、PTA 会長または P T A 学校保健担当様、郡三師会に参加していただける先生方等 約 1 2 0 名

4 日程

12:30~12:50 13:00

13:45 13:55

14:55 15:00

受付	【第 1 部】 総会 & 表彰 & 講評 & 報告等	休憩	【第 2 部】 ご講演 「こどものアレルギーの最近の話題 ～アナフィラキシーを中心に～」	お礼 閉会の言葉
----	-------------------------------	----	---	-------------

5 内容 1 2 : 3 0 ~ 1 2 : 5 0 受付

(総合同会：揖斐郡保健主事部会代表)

【第 1 部】 総会及び挨拶

・郡学校保健会会長挨拶 (今村 寧 様)

・郡教育会会長挨拶 (高橋 利行 様)

1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0 総会・表彰式 郡学校保健会功労者表彰

学校環境衛生調査表彰

(表彰状は郡学保会長様より被表彰者・表彰校へ 呼名 郡養教部会担当校長)

1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 5 歯の健康児童事業講評 郡歯科医師会 会長 保坂 松治 様

郡学校環境衛生活動講評 郡薬剤師会 会長 金森 豊 様

(1 3 : 4 5 ~ 1 3 : 5 5 休憩・講演準備)

【第 2 部】 講演

1 3 : 5 5 ~ 1 4 : 5 5 ご講演

「こどものアレルギーの最近の話題～アナフィラキシーを中心に～」

講師 岐阜大学附属病院 小児科 臨床教授

同アレルギーセンター センター長 川本 典生 先生



【第 1 部】 郡学校保健研修総会及び表彰 講評



郡学校保健研修総会



郡学校保健会 会長挨拶
(今村 寧 様)



郡学校保健会功労賞表彰
(高橋 治樹 様)



郡学校環境衛生優秀校表彰
(中・西小・宮地小・揖斐川中)



歯の健康優良児講評
(郡歯科医師会会長 保坂 松治様)



郡学校環境衛生講評
(郡薬剤師会会長 金森 豊 様)

【第2部】 講演

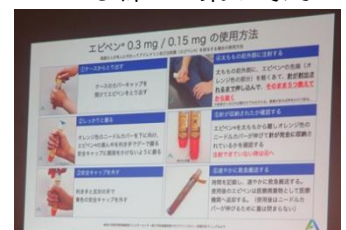
「こどものアレルギーの最近の話題～アナフィラキシーを中心に～」

講師 岐阜大学附属病院 小児科 臨床教授

同アレルギーセンター センター長 川本 典生 先生

川本典生先生の「こどものアレルギーの最近の話題～アナフィラキシーを中心に～」についての講演の感想・意見

- 過去と現在で子どもたちのアレルゲンの変化や薬に酷似してるものがあるため注意しなければいけないし、確認する必要性を強く感じました。
- アレルギーの症状の学校にもいろんなアレルギーのある児童がいるのでアレルギーを起こす前に色々な対策があるので活用していきたいと思いました。
- アレルギーは赤ちゃんの時の影響も受けやすいということが分かりました。エピペンもただあればよいと言うわけではなく、病院までの距離も考えたうえで2本目も備えるべきだと分かりました。適切な対応の仕方を学ぶことができました。
- リアクティブではなく、プロアクティブの重要性を再確認しました。また、潜在的にアレルギーを抱えている生徒も多いと知り、対応訓練（ロールプレイ）も校内で行う必要があると感じました。
- 児童のアレルギー反応が色々な種類の食べ物に出るようになったのが不思議でしたが、ロカボ食品を多く摂る人が多くなってきているからナッツ類、特に胡桃アレルギーが多くなっていることを教えていただき、不思議に思っていることがよくわかりました。反対に蕎麦アレルギーの子がいなくなってきたことにも驚きました。薬もどんどん進化していて、点鼻薬が出たことで安心して薬剤を投与することができるかと思いましたが、容量の違いや薬の違いを見分けなくてはいけないとなると、やはりロールプレイ研修は必要であると感じました。
- アレルギーに関する最新の情報を教えていただきました。今後はネフィーの処方が増えてくると思いますが、使用方法について学校で研修をしっかりと行う必要があると思いました。
- つい先日、学校でアレルギー研修を行いました。その時にネフィーの話も出ていたため、今回の講演で詳細を知ることができ、とても勉強になりました。
- 学校におけるアレルギーはさまざまなものを想定する必要があると感じました。実際におきた場合迅速な対応が必要になると再確認できました。アレルギーの予防等について食物アレルギーやアトピーを早期に徹底的にケアすることが大切とわかり、アナフィラキシーにも新しい薬や対応の仕方があるため、十分にしておくことが必要だと感じました。
- 知識（保健情報）のバージョンアップができ、最近のアレルギー事情を詳しく知ることができました。学校に生かしていきたいと思いました。アレルギーの対応もどんどん新しくなっており、日々状況が変わる中で、正しい知識をもとに行動することが大切だと感じました。



- 卵アレルギーにしないためには、初期に肌を徹底的にきれいにすることが大切だということを初めて知りました。アレルギーについて、症状、治療方法、予防、学校での対応の仕方など、詳しく教えていただき、良かったです。
- 大変学びとなる講演でした。特に食物アレルギーは予防できて、そのための小さい時からの関わりもある程度プロトコル化されていることがとても驚きました。また、点鼻薬ネフィーの情報も勉強になりました。
- 「アレルギーの現状」について、学ぶことができました。エピペンは1回使用して、あとは病院に行くという流れだけかと思っていましたが、病院までの距離によって、2本持ちを検討し、2回目が必要になることもあるということが分かりました。また、食物アレルギーは予防できる、ということを知り、小さい頃から肌を徹底的にきれいにし、湿疹をコントロールしていくことが必要だということを学びました。



講演から学んだ学校でのアレルギーや感染症に対しての対応や、自分の立場で学校でのアレルギーや感染症に関わって取り組んでいくこと

- アレルギーについても似た物でも反応するようになるため、保護者とも定期的に情報交流する必要性を感じました。
- ネフィーという点鼻薬がそのうち出てくるんだと確認できました。エピペンのように体験しないと扱えませんが、心構えはできました。また、アナフィラキシーの緊急対応についても、咳をポイントに気をつけていけるよう備えていきたいです。
- スギ花粉の舌下免疫療法を自分も行った身として、自身の経験談が話せるなと思いました。
- 新しい情報を職員で共有し、校内の研修に生かしていきたいと思っています。また、アレルギー対応研修の在り方について、さらに工夫改善を行っていきたいです。
- アレルギーも感染症も養護教諭1人だけではなく、学校組織として取り組まないといけないので、毎年の職員研修等で最新の情報を担任の先生方にも共有し、子どもの対応にあたりたいと思いました。
- 給食は、もちろん、宿泊研修のメニューなども保護者を含めて、複数で確認する必要があると思いました。
- 本校にもエピペンを持っている生徒がいます。他にも、様々な体調の生徒がいるため、この講演で学んだことや4月に行った訓練を、これからの学校生活で活かせるようにしたいです。また、子供の命を救うには時間との勝負のため迅速かつ冷静に対応していきたいと思いました。
- 命をお預かりしていることを忘れずに、研修などをしっかり行っていきたいです。そのために今回知った新しい対応を確実に学校に広めていくようにしたいです。
- あらかじめ、症状が予想される児童以外の発症についても、ある程度予見しながら対応できるように準備しなくてはならないと思いました。また現在、重篤なアレルギーを持っている児童がいなくとも、いつだれがなってもおかしくないということを念頭に置いておきたいです。
- アナフィラキシー対応がいつでもどこでも誰でも出来るように、繰り返しのシミュレーション研修を実施していくことが大切だと思いました。そのために担任している児童のアレルギー症状について理解し、程度やアレルギー内容に合わせた活動を考慮していきたいです。
- 今年度、アレルギーのシミュレーションと実技の職員研修を行ないましたが、自分はもちろん職員が常に危機意識を持って過ごすように伝えていきたいと思いました。
- エピペン研修について本校では簡単なシュミレーションしかしていないので、初発のアナフィラキシーでも職員が動けるように研修を組みたいと思いました。
- 毎年アレルギー研修を行っているが、今年度のシミュレーション研修では、教えていただいた最新の情報も取り入れて職員と共通理解を図りたいです。
- アナフィラキシーを起こしてしまった時には、命を守るためアドレナリンの注射が第一選択で大切だということがわかったので、校内でシミュレーションを含んだ研修を重ねていきたいと思っています。また、アナフィラキシーになるとまず皮膚の症状が出ることも多く、咳が止まらなくなることも多いとお聞きしたので、その点を校内で研修する際には、職員に伝えたいと思いました。また、ネフィーについては、新しい薬なので、自分も勉強をしながら、校内研修したいと思いま



した。

- 今までアレルギーがある児童として挙がっていなかったとしても、突然アナフィラキシーが起きることもあるということについて、今までそこにあまり意識を向けられて居ませんでした。何かあったときに、アレルギーのある児童ではなくても、その可能性を疑い、対応できるようにしていきたいと思いました。また、エピペン等を使用する時には確実にその児童のものを使うことや、点鼻薬とエピペンの両方もっている人には、どちらを使用するのか事前に確認して、確実に対応できるようにしたいと思いました。

本年度の郡学校保健研修総会の内容・運営や次年度の総会の実施についての意見
※いただいたご意見をもとに令和9年度の郡学校保健研修総会のもち方を工夫していきます

- 医療に直接携わっている方の最近の動向を含めた講演は、大変興味深くてよいと思います。毎回、様々な講師を招いていただき、自身の学びになりました。
- 講演を聞くのもいいですが、せっかく集まるので他の先生方（違う役職でも）と交流ができるといいと思いました。
- 医師会との連携を深める重要な場であるように思います。準備・運営など大変かと思いますが、可能な範囲でスリム化しながら、継続していけるとよいと思います。
- 最新の正しい知識を丁寧に教えてくださり大変勉強になりました。伝えていただくことが多く時間が足りず質疑応答の時間もなかったのがとても残念でした。

※講演のテーマは4月に保健主事・養護教諭・栄養教諭・体育主任の先生方にアンケートをとり、郡学校保健会理事会での協議・ご指導をもとに決定しています。令和9年度も同じ方向で講演内容及び講演内容についてご指導いただける講師を決定していきます。

- 一般の教諭も参加しているので、後半は講習会でもよいと思いました。静かに話を聞いているだけでなく主体的に取り組める工夫があるとよいと思います。

※講演の内容については郡学校保健会理事会での理事の先生や講師の先生と協議し、主体的に取り組める方法を工夫していきたいと考えています。

- 夏休みの開催でありがたいです。会場もサンサンホールで良いと思います。
- 会場は、広く、ステージがよく見える会場で、良い所でした。日程についても、ちょうどよい時期でした。

※例年7月末～8月初めの水曜日に実施しています。令和9年度は令和9年7月28日（水）か8月4日（水）のいずれかで実施予定です。

※会の開催時間は本年度と同じ13:00～15:00を予定しています。

（三師会の先生や講師の先生が午前中の診療を終えて参加していただき、午後の診察ができるように、郡学校保健会事業はすべてこの時間帯に設定しています）

※会場についてははなももの多目的室（1）で実施していましたが120名の収容がギリギリで机・椅子の設置や会場準備に時間がかかるため令和7・8年度は谷汲サンサンホールで実施し肯定的な意見が多かったため、令和9年度も谷汲サンサンホールでの実施を予定しています。

- 当日、資料を配付していただくことはお手を煩わせてしまうので、事前に資料をQRコードで教えていただけるとありがたいです。当日プリントアウトして持参し、メモできるとより理解が深まり、教えていただいたことが整理できると思います。

※先生方だけでなく、三師会の先生方やPTAの方にも参加していただくため当日のリーフレットの配付は令和9年度も実施したいと考えていますが、令和9年度はリーフレットを事前に郡学保のHPにあげたり、夏季研修や郡三師会と養護教諭との交流会のように事前に講演資料や講演の概要をHPにあげるなどして、事前に目を通して参加していけるよう改善したいと考えています。

